

令和元年度実施施策に係る政策評価書

(経済産業省1-2-4)

政策名	2 産業育成	施策名	2-4 クールジャパン			
施策の概要	クールジャパンの推進により、日本の生活文化に根ざした製品・サービスの海外展開を後押しする。					
達成すべき目標	2020年時点で市場規模900兆円以上とされている世界の文化関連産業のうち、主な対象分野となるファッション、コンテンツ、観光関連分野において相当程度のシェア獲得を目指す。					
施策の予算額、執行額等	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	2,091	1,800	3,111	4,384
		補正予算(b)	5,853	3,298	3,601	-
		繰越し等(c)	▲ 5,579	2,731	▲ 403	/
		合計(a+b+c)	2,365	7,829	6,309	
執行額(百万円)	2,172	6,269	6,212			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	「成長戦略実行計画」(令和2年7月17日閣議決定) 「未来投資戦略2018」(平成30年6月15日閣議決定) 「総合的なTPP等関連政策大綱」(令和元年12月5日TPP総合対策本部決定) 「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定)					

測定指標	1	海外における日本由来のコンテンツ産業市場規模	基準値	実績値				目標値	達成	
			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	令和3年度	-
			1.7兆円	1.8	1.9	2.1	測定中	-	2.5兆円	
		年度ごとの目標値	/	1.8	1.9	2.1	2.3	2.5	/	
	2	外国人旅行消費額	基準値	実績値				目標値	達成	
			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	令和12年度	-
			3.47兆円	3.7	4.4	4.5	4.8	-	15兆円	
		年度ごとの目標値	/	3.7	4.4	4.5	6	8	/	
	3	(クールジャパン機構)民間企業からの協調出資等の事業総額に対する割合(%)	基準値	実績値				目標値	達成	
			26年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	令和5年度	-
			50%	75.0%	72.0%	69.0%	62.0%	-	50%	
		年度ごとの目標値	/	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	/	

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり (判断根拠) コンテンツ産業は、今後成長著しい産業として期待がされており、「日本再興戦略2016」において「コンテンツの新たな海外市場開拓のため、権利情報の集約化や字幕・吹き替え等の現地化等の支援、国際連携強化により、コンテンツの利用促進に取り組む。」とあることを踏まえ、「コンテンツ関連産業の国内外売上高」を測定指標として設定。令和元年度実績は測定中であるが、売上高については、目標に向けて順調に推移しているため、相当程度進展ありとした。 「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定)に掲げる政府目標である令和2年度に8兆円、令和12年度に15兆円を基準として、そこに至るまでの増加傾向については想定出来ないことから均等割で目標を設定。令和元年度実績は目標値には届かなかったものの、数値は毎年増加傾向であるため、相当程度進展ありとした。 クールジャパン政策の推進に向けてクールジャパン機構の活動状況に着目し、測定指標として、「官民ファンドの活用推進に関する関係関係会議幹事会」が定めたガイドラインに基づき各ファンドが設定することとされているKPIの一部である「民間企業からの協調出資等の事業総額に対する割合」を測定指標として採用。この指標については目標を達成。
	施策の分析	コンテンツ産業については、「コンテンツグローバル需要創出等促進事業」によるコンテンツのローカライズ・プロモーション等への補助を通じて533件の海外展開を支援したほか、「新コンテンツ創造環境整備事業」で国際見本市(合計8,000件以上のマッチングを実施)を開催するなど、新たな海外市場開拓を着実に促進している。 「ローカルクールジャパン推進事業」では外部人材を活用したプロデュース支援を5件実施したほか、デジタル技術を活用し、インバウンドを活用した持続的に成長できる地域づくりのための計画(スマートリゾート計画)を2地域で策定し、インバウンドの消費拡大に寄与している。 平成26年度以降、クールジャパン機構によるリスクマネーの供給により、民間部門単独では成し得なかった海外需要獲得の基盤となる拠点や流通網の整備、インバウンド拠点の整備などを率先して展開し、令和元年度末までに、合計42件の投資先に約950億円の支援(民間投融資額約1585億円)を決定し、民間投資の呼び水としての効果を発揮し、一定の成果を挙げている。
	次期目標等への反映の方向性	コンテンツ産業は、成長戦略フォローアップ2020において、「コンテンツ関連産業等の海外販路開拓(略)やインバウンド拡大につなげる観点から、国際見本市の開催(略)支援等を行う。」とあることを踏まえ、引き続き新たな海外市場開拓、コンテンツ産業の市場規模拡大等に向けた取組を実施していく。 「観光ビジョン実現プログラム2020」(令和2年7月14日観光立国推進関係会議決定)においても、「国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等から、インバウンドの回復を図ることで、再び観光を成長軌道に乗せ、観光で日本の津々浦々が活性化する観光立国を目指す」とこととされており、引き続き、インバウンドの消費拡大に向けた取組を実施していく。 今次政策目標は、平成25年11月のクールジャパン機構の設立・業務開始を受けて、平成26年度に設定したものであり、今年度以降のクールジャパン機構による新たな投資決定や、既に投資決定を行った案件の事業開始も見据えて、本測定指標に基づき、継続的に事業運営を進め、効果分析を実施していくことが重要である。

学識経験を有する者の知見の活用	政策評価のあり方を検討する場として、「政策評価懇談会」を設置。その議論を踏まえて省としての政策評価体系や評価の在り方を決定。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	
---------------------------	--

担当部局名	商務・サービスグループクールジャパン政策課	政策評価実施時期	令和2年9月
-------	-----------------------	----------	--------